



豊かなかかわり合いを通して、 生き生きと学ぶ児童の育成



あいさつ

さいたま市立植水小学校 校長 岡 義行

本校では、平成26年度埼玉県校外教育協会の指定を受け、環境教育の研究に取り組んで参りました。ここに、研究の成果を研究紀要にまとめることができ、また、指導者の先生方の御指導で本発表を無事に迎えることになり、大変うれしく、また、ありがたく思います。

自然に恵まれた教育環境という本校の特色を生かし、全ての教員が授業実践を通して子ども達のよさを伸ばし、合わせて指導方法の工夫改善を図ることを主眼に研究に取り組んで参りました。

研究はまだ途に就いたばかりで、今後も更なる発展に向けて教育活動に取り組んでいく必要を感じています。

御参会の皆様方には、本校の目指す研究テーマや児童像が本日の授業の中にどのように表れていたかなど、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いに存じます。

結びに、本研究を進めるに当たり親身の御指導をいただきました、御支援くださりました社団法人埼玉県校外教育協会の皆様並びにさいたま市教育委員会指導 1 課の諸先生方に心より感謝を申し上げ挨拶いたします。

平成 26 年度 さいたま市立植水小学校

成果

- みずべの里へは、1年間に何回も行くことができ、季節ごとの自然とのふれあいを楽しむことができた。
- 生き物を自分でとったり、育てたりすることで、生き物は自然環境と深いつながりをもって生きていることに気づくようになった。
- おこめ作りを体験することで、植水地区の自然環境に子ども達の目が向くようになり、地域への愛着が深まった。

課題

- 3年生までの自然体験を4年生以上の学習に生かしながら発展させていくことが必要である。さらに中学校での学習にもつなげていけるように研究していきたい。
- 地域との連携があつて、環境教育が進んでいる。今後も更に関係機関との連携を深め、取組の継続を確かなものになりたい。

○あとながき

平成26年度、埼玉県校外教育協会研究委嘱校として「環境教育」の研究を進め、ここに研究をまとめることとなりました。

本校の研究の特色は、テーマにもあるように、さまざまなひと・もの・こととのかかわりあいを通して学びを深めている点にあります。身近な材を活用することで、繰り返しかかわったり、必要な時に必要な支援を受けたりすることが可能となりました。一方で、そのような材の開発にあたっては、地域だけでなく校内の環境整備も進め、自然観察園を整備したり、雨水タンクを設置したりもしました。

終わりに、本校の研究に対して、ひとかたならぬ御指導御支援をいただきました、埼玉県校外教育協会の皆様、さいたま市教育委員会の諸先生方をはじめ、多くの皆様に心から感謝申し上げます。

○研究をご指導いただいた先生方

<平成26年度>

さいたま市教育委員会学校教育部指導1課	主任指導主事	浅野 博一 先生
さいたま市教育委員会学校教育部指導1課	主任指導主事	千明 勉 先生

○研究に携わった教職員

校長 岡 義行	教頭 深津健太郎	教務主任 内田 真人			
◎中島 優	○杉山 淳子	芦萱 勝 棚田 恵美	林 裕子	石川 宏子	
長谷川洋子	○藤巻 裕信	長谷川則子	○田村 恵	池田 洋明	石井 一美
加藤智奈美	秋山 昌子	町田 忠昭	野元 政司	大久保妙子	柚木原崇之
笠原 正美	菊池 良子	藤田美和子	遠藤 里美	有隅 宏美	松本美佐子
内山 千景	中山あゆみ	廣川みち子	荒井 昌美	神田 敏明	奥村 裕次
羽生田成子	大畑 智子	安藤 良生	濱野 里美	島谷真喜子	ナリ-ツリジョン
日置 哲朗	秀嶋 安城	田中 千歳	小山 典子	○研究推進委員 ◎研究推進主任	
<平成25年度>					
飛知和朋子	遠山てる子	佐野 光子	市川 将史	若井 惟和	堀切さとみ
長谷川祐美江	川上 眞理	ア-リ-ンダ・アルモンテ・カマンス	ジョナ・ファビト		